《課題名》

食道癌の周術期因子と予後との関連性の検証

《研究対象者》

当院で 2012 年 1 月から 2025 年 5 月までに食道癌に対して、手術治療を受けた患者さん

研究協力のお願い

滋賀医科大学において上記課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の滋賀医大で既に保有している臨床情報を調査する研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報等の使用について、直接に説明して同意はいただかずに、このお知らせをもって公開いたします。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

この研究への参加（試料・情報提供）を希望されない場合、あるいは、研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

（1）研究の概要について

研究課題名：食道癌の周術期因子と予後との関連性の検証

研究期間：　承認日～2026 年 12 月 31 日

実施責任者：　滋賀医科大学　外科学講座　　医員　竹林克士

（2）研究の意義、目的について

《研究の意義、目的》

食道癌の治療は主として手術、化学療法、放射線療法が選択されます。食道癌患者さんは飲酒歴、喫煙歴、併存疾患(高血圧、心臓病など)を患っている割合が多く、腫瘍による閉塞症状にて経口摂取が困難で栄養状態が悪い方も多く、治療による重篤な合併症が発症する可能性が高いです。近年、治療成績向上の目的に低侵襲の術式や強力な化学療法の導入が試みられています。また、合併症の発症と予後との相関も報告されており、合併症予防に向けて栄養療法をはじめ様々な対策が試みられています。本研究では食道癌に対して治療を受けた方で、その予後に影響する因子を検討します。

（3）研究の方法について

《研究の方法》

既存資料を用いた観察研究。当院で 2012 年 1 月から 2025 年 5 月までに食道癌の患者さんの中で、手術療法を受けた方の術前の全身状態、術後合併症、治療による有害事象を評価します。また、電子カルテより患者さんの年齢、性別、身長、体重、併存疾患、手術方法、手術時間、出血量、術後合併症、周術期の栄養剤、血糖値、病理学的所見、術後在院日数、放射線および化学療法の奏効率、有害事象、再発形式、再発に対する治療といった情報を利用します。

（4）個人情報の取扱いについて

《個人情報の取扱いに関する記載》

研究にあたっては、個人を容易に同定できる情報は削除したり関わりのない記述等に置き換えたりして使用します。また、研究を学会や論文などで発表する時にも、個人を特定できないようにして公表します。

（5）研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。

（6）研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。

（7）問い合わせ等の連絡先

滋賀医科大学医学部附属病院栄養治療部　　竹林　克士

住所：520-2192　滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号：　077-548-2238

メールアドレス：　hqsurge1@belle.shiga-med.ac.jp